

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 4

令和2年5月26日

文責 渡辺富美夫



大切な 小さな一歩

町立教育センター 教育相談活動

町立教育センターにおける主な活動の1つとして教育相談があります。親御さんや本人、教員などと来室、または電話での相談を行っています。さらに「学校に行けない子どもたちの居場所」「再登校に向けエネルギーを充填する場」、「進級進学に向け学力を保証する場」として教育支援室も開設しています。



現在は、数名が来室しており、主な活動は、教科の学習、絵・手芸などの創作活動、卓球・バドミントンなどの体育活動、校外学習（現在は控えています）など、それぞれの子どもたちにとってパワーを蓄えられる充実した時間を考えています。また、交流活動として来室している子どもたちが一緒に活動する場面も作っています。先日は、えびせん作りをしました。ほかにたこ焼きやハンバー



グ作りなどを行っています。役割を分担し、協力し合って作ったものを食べながら、いろいろな話をしてゆったりとした時間を過ごしています。そのほかには、野菜作りもしています。子どもたちと相談して、キュウリ、トマト、サツマイモ、小玉スイカ、かぼちゃなどを作っています。夏以降の収穫とその作物を使った料理作りが楽しみです。今年はさらに花壇をお借りして花も育てています。

このような活動を通して、少しでも教育支援室としての役割が果たせるよう努めています。また、担任、養護教諭、管理職の先生などとも話をする機会を持ち、連携を密に取っています。さらには、SSW（スクールソーシャルワーカー）、スクールカウンセラー、町の子育て支援課などと連携をとっています。4月から新しく替わったSSWの古屋麻里先生にも何度も来室していただき、子どもたちはセンターとは違ったアプローチをしていただくなど連携した相談活動を行ってきています。

センター相談員より



私たち相談員の一番の願いは、教育センターから学校へと自分の気持ちが向くようになることです。今は、人や社会とつなぐためにエネルギーをたくさん充電して、毎日元気に活動してほしいと願っています。たとえその歩みが小さなものであっても、現状に寄り添う中で、一步一步前に進めるようにサポートしていきたいと思えます。



スクールソーシャルワーカー 古屋麻里先生より

はじめまして。今年度から富士河口湖町教育委員会に所属することになりました、スクールソーシャルワーカー（SSW）の古屋麻里です。社会福祉士（福祉の専門家）の資格を持っています。

子どもたちは学校生活のなかで、様々な壁にぶつかります。壁の向こうが見えず、どうすればよいかわからず、動くことができなくなってしまった時、支援させていただきます。壁を乗り越える方法は何通りもあります。どんな乗り越え方が、その子にあってののかを一緒に考え、一人ひとりにあったサービスや人を紹介します。学習面、人間関係、経済面… 様々なケースに対応させていただきます。子どもたちが、自分らしさを存分に発揮して生活するために、精一杯努めさせていただきます。

当センターには、渡辺政孝教育長をはじめ、所属校の先生方（指導もしていただいています）、関係機関の方々、OBの先生方など多くの方々が訪れます。多くの方々に支えられて、活動できています。今後も、子どもたちの歩みを少しでもサポートできる教育支援室（教育センター）でありたいです。